



《 国産大豆 》

20年産1月も落札率低迷

平成20年産国産大豆の1月の入札結果が、日本特産農産物協会から発表されました。それによると、上場数5729.2トンで、落札が1415.5トン、落札率が25%という結果となりました。依然、市場の動きが鈍く、19年産大豆の手持ち在庫もあるため、必要最小限の入札にとどまっているものと思われます。19年産と比較すると落札率は低いものの、平均落札価格は高くなりました。(前年1月の落札率は67.5%、前年1月の平均落札価格より60kg/124円高値)

また、12月と比較すると、落札率は、2ポイント低下し、平均価格は、60kg/464円安くなりました。しかしながら、銘柄によっては、前月よりも高くなったものもあり、まちまちの状況といえます。値上がりした主な品種は、北海道大粒ツルムスメ(60kg/620円高)、岩手中粒ナンブシロメ(60kg/140円高)、宮城大粒タンレイ(60kg/207円高)となっております。

主な落札価格(普通大豆)は、北海道大粒とよまさり8,097円/60kg、北海道小粒スズマル11,898円/60kg、新潟大粒エンレイ6,835円/60kgとなっております。

今後、新穀大豆の等級検査も終盤に入り、入札への上場数量も増えてくるものと思われます。ご希望の品種がございましたら、弊社の営業担当者までご一報いただければ幸いです。

なお、宮城県内の大豆選別、検査は、米の収穫が一週間ほど遅れた影響で、例年よりも遅れ気味となっております。品質的には、大粒中心の出来具合ですが、品種によっては、紫斑病やしわ粒が、やや多い印象です。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
11月	831.6t	158.4t	19%
12月	4,642.4t	1,266.2t	27%
1月	5,729.2t	1,415.5t	25%
累計	11,203.2t	2,840.1t	25%



《 中国産大豆 》

‘08産大豆の作柄

‘08年産大豆の品質については、昨年8月の乾燥気候により、粒度が若干小ぶりですが、石豆や泥汚れなどの懸念材料は、無さそうな状況です。生産量に関しても、前年比29%増加の1650万トンの見込みです。

安心、安全な大豆を供給

弊社の扱う中国産大豆は、商社管理の集荷業者、契約農場で栽培された安全な大豆を入荷しております。農薬管理も徹底されておりますので、安心してご用命下さい。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



《 北米産大豆 》

‘08産大豆生産高やや減少

アメリカ農務省は、1/12に‘08年産の世界の大豆生産予想を2億3320万トンと発表し、前年比0.6%減産の見込みとなりました。（‘07年産は、2億2089万トン）これは、アメリカで105万トン増加したものの、アルゼンチン、パラグアイなどの南米諸国で、225万トンの減少見通しとなったためです。

大豆相場の展望

現在、シカゴの大豆相場は、期近で9ドルから10ドルの間での動きとなっており、為替も90円前後で推移しております。シカゴ相場は、昨年12月と比較すると約1ドル上昇しており、新穀大豆の価格も、思いのほか下がり幅が少ない状況です。（プレミアムの上昇で、長期的には、非遺伝子組み換え大豆は、タイトな状況が継続）

今後の動きは、干ばつが続いている南米諸国の天候に左右されるものと思われます。そして、その結果に、北米農家の大豆作付面積の意向が反映されるものと思われます。

米国産黒大豆エムワン（2008年産）入庫情報

入庫日：2009年1月5日

成分分析（宮城県味噌醤油工業協同組合）

水分：9.9%	粗タンパク質：38.8%	全糖：22.7%	脂肪：19.9%
吸水率：208%	発芽率：95%	NSI：87.1%	酸価：0.82 KOHmg



《 南米大豆情報 》

ブラジル

ブラジルでは、11月半ばから南部を中心に高温乾燥天候が続き、特にパラナ州では、干ばつによる作況悪化が懸念されています。ブラジルの国家食糧供給公社は、1/8に大豆生産高見通しを5780万トンと下方修正しました。このまま水分不足の状況が続けば、単収悪化が見込まれ、さらなる下方修正も予想されます。（アメリカ農務省のブラジル産大豆生産見通しは、5900万トン）

アルゼンチン

ブラジル同様に、中央部から北に広がる一帯で高温乾燥天候が続き、深刻な水分不足に陥っております。特にブエノスアイレス南西部、サンタフェ北部の干ばつ被害が大きく、一部に作付放棄をせざるを得ない農家がいるとの話もあります。アルゼンチン農牧庁は、1/21に大豆の作付面積見通しを1650万ヘクタールに下方修正しました。（前回見通し1780万ヘクタール）今後の天候次第では、さらなる作況悪化、作付面積減少も予想されます。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>